

# 島根県の中国山地におけるニホンジカの生息実態調査（Ⅰ）

－ 2015～2020年度の生息，被害，捕獲および行動圏 －

金森 弘樹・小沼 仁美・小宮 将大・高瀬 健一郎・澤田 誠吾

**研究の要旨** 島根県の中国山地では、2019年度に狩猟と有害捕獲によって411頭のニホンジカが捕獲された。捕獲は15市町のすべてで認められたが、とくに広島県境の邑南町と飯南町で多かった。

2012年度の中国山地での狩猟の銃猟時のSPUEと脚くり罠のCPUEはいずれも0.01であったが、2019年度にはSPUEが0.03、CPUEが0.04に増加した。邑南町でのライトセンサスによる発見数も2012年の0.5頭/kmから2021年には3.5頭/kmへと増加した。これらのモニタリングデータを使った階層ベイズモデルによる2019年度末の中国山地の推定生息数は2,990頭となって、このうち邑南町での推定生息数が1,160頭と40%を占めた。

スギ、ヒノキの幼～若齢4林分での被害は、樹幹の樹皮食害が林木の8～81%に発生していた。

罠による捕獲効率は、ICT囲い罠とICT箱罠は0.005～0.024頭/日と低かったが、獣道へ仕掛けた脚くり罠は0.006～0.029頭/日とやや高い場合もあった。

GPS発信器を装着した5頭の95%カーネルによる行動圏は、0.7～33.8km<sup>2</sup>であった。また、いずれの個体もおもに森林内を行動したが、水田、畑および牧草地も利用していた。これらのことから、今後は農林業への被害等が拡大しないように生息数の増加を抑えるための捕獲圧を強化していく必要がある。

## 関連図表

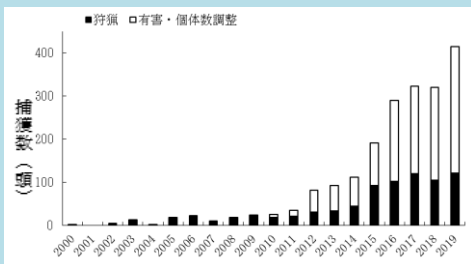


図1 島根県の中国山地におけるシカの捕獲数の推移

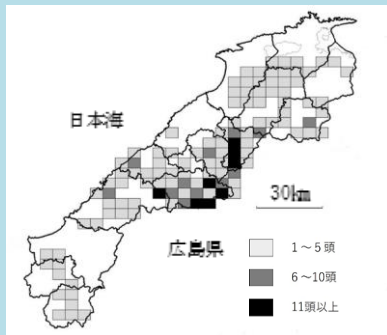


図2 島根県の中国山地におけるシカの捕獲場所（2019年度、5kmメッシュ）

表1 林業被害の発生実態

No.	場所	調査年	樹種・林齢	平均地胸・胸高直径 (cm)	調査本数	被害本数 (%)		樹皮食害			
						樹皮食害	角こすり害	平均下端高 (cm)	平均上端高 (cm)	剥皮部の平均長さ (cm)	剥皮部の平均幅 (%) *
1	邑南町 戸河内	2017	ヒノキ 4年生	3.2	144	117 (81)	5 (3)	20	84	64	60
2	飯南町 上来島	2020	スギ 5年生	2.9	100	18 (18)	4 (4)	19	82	63	52
		2020	ヒノキ 5年生	4.0	100	63 (63)	1 (1)	39	80	41	34
3	美郷町 明塚	2016	ヒノキ 25年生	27.0	126	22 (17)	6 (5)	14	149	135	34
4	邑南町 久喜	2019	ヒノキ 20年生	21.7	150	12 (8)	18 (12)	0	76	76	8

\* 樹幹の周囲長に対する割合 (%)。

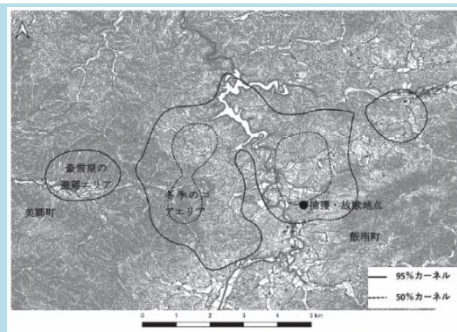


図6 下来島1（オスジカ）の行動圏

**語句説明** ■ **SPUE**：銃猟を行う1人が、1日間で何頭目撃したかを示した数字で、生息動向（増減）を図る指標の一つ。  
 ■ **CPUE**：わなであれば10（または100）基1日あたり、銃猟であれば1人1日あたり、対象鳥獣を何頭捕獲したのかを示した数字で、生息動向（増減）を図る指標の一つ。  
 ■ **ライトセンサス**：夜間において、一定のルートで低速走行する自動車からサーチライトを照らし、動物の目が光ることを利用して、対象獣種の個体数を調査して、生息動向（増減）を推定する調査手法。  
 ■ **階層ベイズモデル**：調査地域において、対象とする野生動物の生息に関する情報（目撃数、捕獲数、糞塊密度及び区画法による密度など）を基に、ベイズ統計の手法を用いて、生息数を推定する方法。  
 ■ **ICT囲い罠、ICT箱罠**：情報通信技術（ICT）を用いた囲い罠・箱罠で、センサー等により、動物のうごきを感じて捕獲出来る装置や、捕獲があったことを通知するシステム。  
 ■ **GPS発信器**：野生動物の行動を把握するため、人工衛星を利用した位置情報が記録、発信できる装置を備えた機器。  
 ■ **95%カーネル**：野生動物の行動圏について、調査データから全体の分布状況を、カーネル法によって推定したもので、95%はその信頼区間を示す数字。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
 島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科  
 問い合わせ先 : 0854(76)3818  
 E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp